

“つながる・ささえあう”ためのささえあい活動

人々の困りごとの解決活動を通して“つながる・ささえあう”まちづくりをしています。「支えられている人も、実は支えている」ささえあい活動。活動拠点のささえあいの家は、人々の駆け込み寺になっています。

みんなが主役の「ささえあい活動」

地域の人々のあらゆる“困りごと”を解決し心豊かな暮らしを実現

つながる・ささえあう

利用世帯：延べ 4420 世帯/ 6 年間

活動者：延べ 8247 人/6 年間

技術を要すること、時間のかかることは、利用者の要望で有料有償に



無料

重い認知症だが、将棋の時は認知症でも何でもないと言う。この活動は6年続き、最期まで、楽しみのある人生となった。

ささえられた人も、誰かをささえられる人になる
笑顔に向けてだけでも
ささえいになる



有料

87歳

夫が将棋で世話になった。恩返しをしたい。私のできることを、草取りをするよ。草とりをするのがうれしい。草取りができるってことは、私は元気だってことだから。



活動の拠点：ささえあいの家
地域の人々から困りごとが、日々寄せられ、即対応



「シジュウカラのおうち（巣箱）を作ってください」

有料

できる人が
できる時に
できることを



有料

「私は巣箱を作ってもらいました。他の人の虫食いセーターを縫います。」



有料

脳梗塞で足が不自由だけど、椅子にかけて利用者も参加
お任せでなく共に活動

活動仲間が要介護5に
元気な頃の散歩コースをみんな



友情

どんな時も
つながる・ささえあう

2020/12/08

